

# 九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

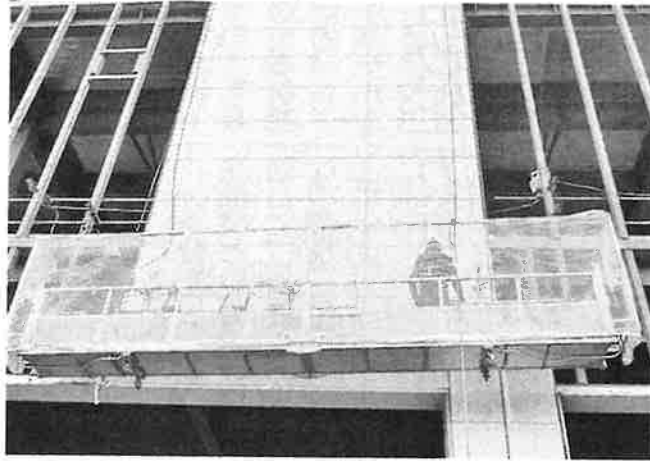
電話 代表092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

購読料1ヵ月7,020円

## T-LOGI福岡新築で採用

### 日線ゴンドラ P-UPsystem工法見学会



日線産業(株)の関連会社である日線ゴンドラ(株)(比留間純代表取締役)は21日、仮称・T-LOGI福岡新築工事現場

(施工・戸田建設(株)九州支店)で、折板用移動台車ゴンドラ「P-UPsystem工法」の見学会を開催した。同社のゴ

ンドラは、物流倉庫などの折板屋根に対応し九州では初採用となる。

P-UP工法は、ゴンドラ作業のため、足場による壁つなぎが一切不要で、仮設材の大幅減による車両減や工期短縮が可能。さらに、上下左右に移動が可能で、外装材を吊り込むウインチ内蔵型により工具や材料と共に移動できるため作業員の負担減と作業効率がアップする。

折板用移動台車ゴンドラの特徴は①レール固定用に特注のハゼ掴み金具を取り付け、丸ハゼ、角ハゼ等の各形状に対応②

ハゼ金具の上にゴンドラ吊元台車専用のレールを設置し固定する③地上で吊元台車を組み立て重機でレール上に設置、さらに、脱輪防止用のガイドローラー、レールストッパーを完備④伸縮機構により屋上への格納が可能で、屋上からの乗り込みも安全に行える。

工事現場の日隈所長は「総枠組み足場と違い、ゴンドラは短時間で設置、工期の短縮にもつながっている。外壁パネルの施工においても安定し安全に作業ができてい」と話す。  
〔写真は施工の様子〕

2021年(令和3年)

12月24日(金)

第20348号  
Since1936

世田

# 冊報

Japan Metal Bulletin

## 日綜ゴンドラ

### 折板屋根対応P-U P工法

大型物流  
倉庫向け

## 九州で初採用

軽仮設大手の日綜産  
業(本社〓東京都、小  
野大社長)のグループ

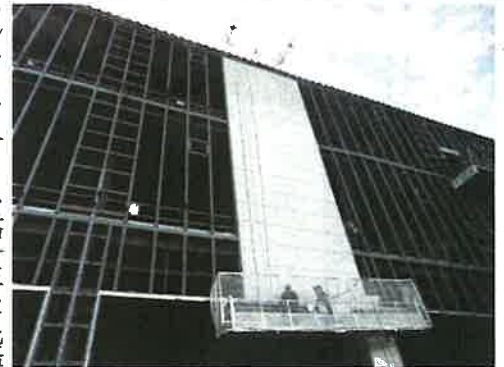
会社である日綜ゴンド  
ラ(本社〓東京都、比  
留間純社長)は折板屋  
根に対応した移動台車

根に対応した移動台車  
ゴンドラ(P-U P工  
法)が大型物流倉庫向  
けとして九州で初め  
て採用された。折板屋  
根に設置した移動用台

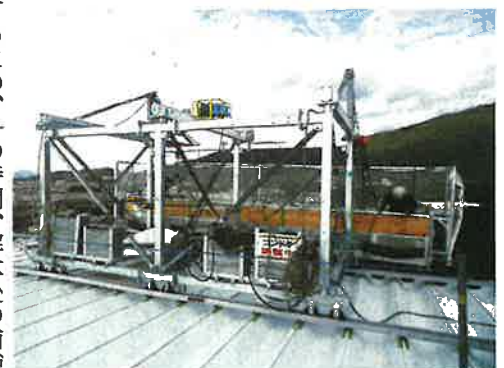
車ゴンドラで工場や倉庫、店舗などで外壁パネル工事が可能。仮設足場による外壁パネル工事よりも短工期で施工できる。とび職の確保が難しい中、少人数で施工できることも特長。今後、物流倉庫の建設が控える九州地区で日綜ゴンドラはさらなる拡販を進める計画。

P-U P工法は、最大吊下荷重1トンの揚重機とゴンドラ、ゴンドラの荷重に対応する力

ゴンドラでの作業



台車



ウンターウエイトを搭載した台車を屋根に設置し、外壁パネルや窓サッシなどを施工する工法。ゴンドラに作業者が搭乗し、揚重機でパネルを地面から持ち上げ、外壁パネルを施工していく。

台車の移動に走行レールを設置するため、コンクリート製など平らで強度のある屋根やビル屋上での採用が主流。日綜ゴンドラは折板屋根に対応したP-U P工法を開発し、今回、九州地区ではじめて採用された。具体的には折板屋根のはず部にレール用金具を取り付けて固定。金具も養

生して設置するため、設置時や撤去時に塗膜への傷つけない。採用された現場は、福岡県須恵町の「(仮称)T-LOGI福岡新築工事」で、東京建物が発注、設計・施工が戸田建設。地上4階建て、S造の物流倉庫で、延べ床面積は1万6638平方メートル、高さ約22メートル。

従来の仮設足場だと建物と仮設足場の間に外装材の取り回しスペースを確保する必要がある。場合によっては外壁パネルが傷つく可能性もある。対してP-U P工法は仮設足場の組み立て・解体作業

の時間、解体後の補強機材の取り外しと補修・検査が不要。外壁パネルへの傷つきも心配ない。

今回の現場では、北面と南面に1台ずつ、計2台のP-U P工法を採用。東面と西面の外壁パネル工事は仮設足場で作業を行った。戸田建設の日隈直人

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

作業所長は「仮設足場では1日100平方メートルの施工面積だったが、P-U P工法では初日に200平方メートル施工した。作業者が要領を得られれば、300平方メートルの施工が可能。思った以上に効率が良い」と高く評価した。

12月24日

2021年  
(令和3年)

金曜日  
第19958号(日刊)  
土・日曜・祝日は休刊

# 鉄鋼新聞

## Japan Metal Daily

発行所 鉄鋼新聞社

本社 東京都千代田区神田神保町1-101  
神保町101ビル  
編集局 ☎03(5259)5203 FAX03(5259)5209  
業務部 ☎03(5259)5202 FAX03(5259)5208  
大阪支社 ☎06(6445)6935 FAX06(6445)6938  
名古屋支社 ☎052(735)6556 FAX052(735)6557  
<http://www.japanmetaldaily.com>  
Eメール: info@japanmetaldaily.com

### 日綜ゴンドラ パネル揚重機システム「P-UP工法」 福岡の大型物流倉庫工事向け受注 増加する折板屋根工法に対応

日綜産業(本社・東京)の屋根に吊元アー

京都中央区、社長・小ムを設置する仕様は九野大氏)のグループ会社で仮設用ゴンドラリ

ース業などを手掛ける日綜ゴンドラ(本社・東京)が、社長・比留間純氏)のパネル揚重機システム「P-UP工法」が、福岡県粕屋郡須恵町の物流倉庫「T-LOGI」の新築工事で採用された。屋上の折板二重葺断熱

現場は建築面積5504・32平方メートル、軒高20・5平方メートルの地上4階建て物流倉庫。発注者は東京建物で、基本設計と工事監理は戸田建設が手掛け

現場は建築面積5504・32平方メートル、軒高20・5平方メートルの地上4階建て物流倉庫。発注者は東京建物で、基本設計と工事監理は戸田建設が手掛け

P-UP工法自体は吊元の台車をコンクリート床などに設置する方法で過去に実績があったが、折板二重葺断熱工法の屋根に走行レールを敷設する方式は関東に引き続き、九州の物流倉庫で2例目。近年増えている物流倉庫などは、コスト面などを考慮し、屋根に折板を採用するケースが

増えており、外装面取付で効率的な同工法についてニーズがあったことに対応した。同システムでは、吊元アームを使ってデッキ型ゴンドラと揚重機(複合体)を併用して外装パネルの揚重から取り付け、仕上げ工事までを一貫して行う。タワークレーンや重機などを使用せず、既存足場のように壁側とのつなぎ(アンカー)も不要なので、外装材の取付用重機の稼働や取付作業の効率化を図ることができ、外装面に不要な傷を付けずに済む。現場、建屋の南北の外壁工事でアーム固定型ゴンドラ2基が稼働している。

工事を請け負う戸田建設の担当者は「固定足場では設置だけでも日数がかかるが、ゴンドラは設置が楽で、設置人数も少なくて済む。作業面積も1日で足場を設置する場合の2倍以上は向上している」と話す。



須恵町に建設中の倉庫で活躍するゴンドラ。作業効率は足場の2倍以上⑤、近年物流倉庫で増える折板に対応したP-UP工法の吊元アーム